

令和6年度「おおいた地域連携プラットフォーム」単位互換科目一覧【前学期】

前学期:37科目

大学名	科目名	開講曜限		担当教員	単位数	他大学受講者総数	対象学年	授業回数	実施方法			到達目標	備考	大分を創る人材を育成する力		
		曜日	時限						対面授業	同時双方向型オンライン	オンデマンド			企業力	地域力	汎用力
大分大学	生涯学習入門	月	2	岡田正彦	2	10名程度	1~4	15回	●			1.生涯学習に関する基本的事項を理解すること。 2.自らの生涯学習の展望を具体的に記述すること。 3.生涯学習を行っていくために必要な態度や知識、技術などについて理解しその向上に取り組むこと。 4.ライフデザイン の概念を知り、自らのライフデザインについて具体的に記述すること。				
	原子と分子	月	4	大賀 恭	2	10名程度	1~4	15回		●		1.基本物理量、単位を用いて、適切な有効数字で測定値を表現・取り扱うことができる。 2.物質を構成する基本単位である原子の構造を説明できる。 3.原子同士の結合の種類とそれらの成り立ちを説明できる。 4.結合様式の違いに基づいて、分子の構造と性質を説明できる。				
	福祉テクノロジー入門	水	1	池内 秀隆	2	10名程度	1~4	15回	●			1.福祉とテクノロジーに関する対する正しい認識を判断できる。 2.障害や高齢に対する福祉テクノロジーに関する説明に対し正しい語句を示すことができる。 3.福祉機器に関する特徴や仕組み、用途などを述べることができる。 4.福祉テクノロジーに関する誤解や問題点を述べ、考察することができる。 5.各授業での説明について簡潔に要点をまとめることができる。			●	
	コンピュータ科学入門	水	1	理工学部教員	2	10名程度	1~4	15回	●			1.コンピュータに興味を持ち、その発展の歴史を説明できる。 2.コンピュータ科学とその応用分野との関係を説明できる。 3.コンピュータの社会における基本的な活用法について説明できる。 4.コンピュータ社会が抱える課題に関心を持ち、自分自身の意見を述べることができる。			●	
	経済学を学ぶ	水	2	高見 博之	2	10名程度	1~4	15回	●			1.経済学の基本的な概念を説明できる。 2.経済と企業との関係など現実の経済問題について、各々の経済主体への影響を説明できる。 3.需要曲線・供給曲線を用いた経済分析について説明できる。 4.経済の動向や経済問題を評価する際に、複数の観点からの効果を説明できる。		●		
	創造的思考法	水	2	鈴木 雄清	2	10名程度	1~4	15回	●			1.マインドマップを用いて、情報の整理・視覚化し、アイデアを創出できる。 2.ブレインストーミングの意味や意義を説明できる。 3.ブレインストーミングによって、アイデアを創出できる。 4.親和図法を用いて情報を視覚化・整理し、アイデアを創出できる。 5.大分の地域活性化を題材に、アイデアを創出できる。			●	
	身近な物理学	水	3	藤井 弘也	2	10名程度	1~4	15回		●		1.日常生活の中で見られる現象に目を向けるようになる。 2.自然現象に関心を持ち、科学的な見方ができるようになる。 3.毎回のテーマについて原理について話し合う。			●	
	青年期の教育とキャリア形成	水	3	丹田 桂太	2	10名程度	1~4	15回	●			1.青年をとりまく社会問題について、授業で扱った用語を用い、概要を説明することができる。 2.青年をとりまく社会問題について、自分自身の経験を踏まえ他者と意見交換することができる。 3.青年をとりまく社会問題に対する自らの考えを表現することができる。 4.身近な社会問題について、自発的に探究することができる。				
	初年次地域キャリアデザインワークショップ	集中	—	牧野 治敏 他	2	全体で20名程度	1・2	15回	●	●		1.多様な情報から、必要な情報を抽出し分析することができる。 2.組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。 3.グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。 4.自分の考えを基にして、他者と協調・協働しながら、大学での学び方を提案できる。 5.地域社会や企業が抱える課題に対応した提案ができる。 6.自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。	eラーニング、対面による合同授業併用型 合同授業(案)6月8日(土)、9日(日)、16日(日) 予備日、6月23日(日)			●
	国際健康コンシェルジュ養成講座	集中	—	大下 晴美 他	1	10名程度	1~4	8回 (2日間)	●			1.病気・外傷の種類・重篤度・緊急度を判断することができる。 2.感染症に対する基本的な知識を理解し、適切な感染症対策を行うことができる。 3.外国語(英語、中国語)の基本的な表現を使って、「身体症状を伝える」ことができる。 4.多様な年齢、性別、人生観、仕事観を持つ社会人とコミュニケーションをとることができる。	6月22日(土)、23日(日)実施 社会人も受け入れ			●
																<協働実施科目>
	人のこころの働き	月	3	吉村 匠平	1	5名程度	1	8回	●			1.講義中に理解した内容を、パラグラフライティングの手法に沿って簡潔に要約できる。 2.自分で答えを出し、それに基づき、周囲の学習者と課題の解決に向けて話し合う。 3.講義内容に基づき、日常生活の諸事象を解釈し、他の学習者が理解できるように表現できる。 4.自分自身の学習の進捗状況を把握したうえで、適切な学習行動をとる。				●
	看護学概論	火	3	秦 さと子	1	数名程度	1	8回	●			1.看護とは何かについて自分の言葉で述べるができる。 2.看護の役割や機能について説明できる。 3.看護の対象にとっての健康と生活との関係について述べるができる。 4.看護提供の仕組みについて説明できる。 5.看護専門職としての基本的な態度について説明できる。				●

令和6年度「おおいた地域連携プラットフォーム」単位互換科目一覧【前学期】

前学期:37科目

大学名	科目名	開講曜限		担当教員	単位数	他大学受講者総数	対象学年	授業回数	実施方法			到達目標	備考	大分を創る人材を育成する力		
		曜日	時限						対面授業	同時双方向型オンライン	オンデマンド			企業力	地域力	汎用力
大分県立看護科学大学	発達心理学	月or火	4or2	吉村 匠平	1	5名程度	2, 4	8回	●			1.進化という視点から、種の発達プロセスを概観し、発達を進化の所産として説明する。 2.進化という視点から、人間の発達に関する事象を説明する。 3.ヒトの発達プロセスを理解・説明するために必要な心理学の概念と知識を修得する。	9月～開講			●
	人間関係学	火	4	吉村 匠平	1	5名程度	1	8回	●			1.人が人を理解するということがどのような営みなのか、心理学における2つの方向性を説明する。 2.講義で理解したことを、パラグラフライティングの手法を用いて簡潔にまとめる。 3.個人が抱える人間関係上の問題に、学修した内容を適用する。 4.学ぶことが個人の内側に閉じた活動ではなく、他者に開かれた活動であること具体例を挙げる。 5.学修課題に取り組むために、周囲の学習者とのコミュニケーションをとる。 6.自分自身の学修の進捗状況を把握したうえで、適切な学習行動をとる。	9月～開講			●
	コミュニケーション論	金	4	関根 剛	1	数名程度	1	8回	●			1.コミュニケーションが受信、理解、発信で成り立つことを説明できること 2.自分が感じたり考えたりしていることに関心を持ち、言葉で表現できること 3.自分と異なる他者の価値観や知識、考え方の違いを列挙できること 4.自分の考えを効果的な方法を用いて行えること				●
	カウンセリング論	金	4, 5	関根 剛	1	数名程度	1	8回	●			1.カウンセリングの基礎的なスキルを理解し、それぞれのスキルを説明できる。 2.ロールプレイを行って、10分以上会話を継続し、複数回のあいづち、繰り返し、開いた質問、言い換えをして、最後に要約ができる。 3.ロールプレイを通じて、自分のコミュニケーションの癖に気づいて、記述することができる。 4.カウンセリングの理論が看護や保健室などの場面でどのように役立つのか説明できる。	9月～開講			●
日本理科大学	ジェネリクススキル養成1	集中	—	吉村 充功 他	1	10	1	8回 (2日間)	●			【関心・意欲・態度】①各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的に関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。 【技能・表現・コミュニケーション】②フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。 【思考・判断・創造】③体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。	住吉浜リゾートパーク(杵築市)で泊2日の合宿(宿泊・食費自己負担)。夏季休業中(9月上中旬頃の平日)に実施。 <協働実施科目>			●
	自然生態学	月	2	中西 章敦	2	5	2~4	15回	●			【関心・意欲・態度】自然環境や生態系に興味・関心を持つこと 【知識・理解】自然環境や生態系の基本的知識を理解すること 【技能・表現・コミュニケーション】自然環境や生態系の保全・再生に関する技術の基礎を身につけて、自身で表現できること 【思考・判断・創造】上記の知識・技術・実践に基づいて 課題を解決するなどの創造的思考ができること				●
	地域再生論	木	2	島岡 成治	2	5	3・4	15回	●			【知識・理解】①地域コミュニティー、地域経済、地域資源の現状を正しく理解できる ②地域特性ごとの具体的な地域再生の事例を理解している ③地域再生の手法を正しく理解できる 【思考・判断・創造】④地域再生の手法を用いて、地域特性にあった地域再生の方法を提案できる				●
立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋の文化と社会	火・金	2	金 賛會	2	5	1~4	14回	●			日本・韓国・中国の東アジア地域や環アジア太平洋地域は昔から活発な文化交流が行われたところである。 ①受講者は、本講義を通して、韓国地域の文化や社会などへの理解を深めることができる。 ②本講義は、日本・韓国・中国の東アジア地域と東南アジアや環太平洋(ハワイ・ポリネシアなど)地域に共通して伝承されている神話・昔話・伝説・民俗などの比較を行うため、比較研究の視点が身につく。 ③また、その文化の比較を通じて、共通性や多様性を確認し、相互の違いを認め、アジア太平洋地域の文化や社会などへの理解を深めることができる。				●
大分県立芸術文化短期大学	ヨーロッパの文化と社会	月	4	高瀬圭子 前山悠	2	5名程度	2	15回	●			1.ドイツ語圏の国々の文化、社会、歴史について、基本的な知識を得る。 2.フランス語圏の文化や社会について基本的な知識を得る。 3.ヨーロッパ文化の諸相を知ることを通じて、多様な文化を理解し、尊重する態度を身につける。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	社会心理学	月	5	吉山尚裕	2	5名程度	1・2	15回	●			1.対人関係や対人行動を記述・説明するための概念(専門用語)や理論を説明できる。 2.習得した概念や理論を使って、対人関係や対人行動の心理を説明できる。 3.社会心理学的な考え方を日常生活に活かすことができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	大分の観光と文化	火	2	購書憲洋 宮野幸岳	2	5名程度	1・2	15回	●			1.大分の観光や文化についての基礎的な知識を身につける。 2.地元出身者にも意外に知られていない観光資源としての大分の魅力を再認識する。 3.観光振興の戦略や問題点について認識する。 4.大分の観光振興について主体的に考える態度を養う。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	地域づくり論	火	2	安倍尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●			毎回の講義中に提示されるさまざまな映像コンテンツや事例について、分析のための視点を習得し、自分自身の立場を把握し、事例や方法論を通して、「地域」「地域づくり」の具体的なイメージを持ち、レポート・口頭発表等の形で提言できるようにすることが、受講者の最終目標です。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●
	アジアの文化と社会	火	3	許挺傑 他	2	5名程度	2	15回	●			<中国>授業では中国および中日関係について、様々な角度から紹介していく。日本との比較を通じて、両国の社会・文化の類似点と相違点を知り、異文化である中国への理解を深めることを主目標とする。同時に自文化(日本文化・社会)への再認識を促すことも授業目標の1つである。また、中国と日本の関係を理解し、未来志向で両国の関係を構築していく上で何が重要かについても、受講生と一緒に議論していく。 <韓国>一年次の必修科目として受講した「国際総合入門」(韓国)で学習した韓国社会・文化(衣食住、冠婚葬祭)に関する知識をベースに、戦後韓国における歴史(朝鮮戦争や民主化運動)についての理解を深めることを目標とする。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			●

令和6年度「おおいた地域連携プラットフォーム」単位互換科目一覧【前学期】

前学期:37科目

大学名	科目名	開講曜限		担当教員	単位数	他大学 受講者総数	対象学年	授業 回数	実施方法			到達目標	備考	大分を創る人材 を育成する力		
		曜日	時限						対面 授業	同時 双方向型 オンライン	オンデ マンド			企業 力	地域 力	汎用 力
	現代社会論	火	4	安倍尚紀	2	5名程度	1・2	15回	●			さまざまな社会学者と彼らが行った課題、授業中に提示される命題、映像やマンガなどの素材を切り口にしながら、(1)社会学の方法論や理論について受講者なりに全体像を持ち、表現することができること、(2)特に現代社会の変容や社会問題について、自分自身の問題として翻訳し、論述できるようになること、が到達目標です。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	近現代世界の歴史	木	5	晴谷憲洋	2	5名程度	2	15回	●			1.今日の世界情勢につながる現代史の展開について、基本的概念と基礎知識を習得する。 2.日本と世界の現代史について、一冊のテキストに則して深く学習することを通して、世界の様々な事件や事象に関して、批判的かつ理性的に考える態度を身に付ける。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	ヨーロッパの歴史	金	2	晴谷憲洋	2	5名程度	1・2	15回	●			1.EUによるヨーロッパ統合・拡大や「ユーロ危機」など、何かと注目される「ヨーロッパ」について、他の文化圏との交流といった側面も踏まえながら、通史として把握することができる。 2.現在のEUの「統一の中の多様性」という概念を、歴史的に理解することができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります			
	産業・組織心理学	金	3	吉山尚裕	2	5名程度	2	15回	●			1.組織の人間行動を記述・説明するための概念(用語)や理論を理解している。 2.習得した概念や理論を使って、組織の人間行動について説明できる。 3.産業・組織心理学的な考え方を社会生活に活かすことができる。	受講にあたり、本学のC-learning利用登録が必要となります	●		
大分短期大学	ガーデニング概論	火	1	摺崎 宏	2	5名程度	1～4	15回	●			1.世界の庭の歴史と様式について説明することができる。 2.大分における季節ごとの園芸作業のポイントについて説明することができる。			●	
	畜産学	金	2	小野宣幸	2	5名程度	1～4	15回	●			1.我が国における畜産農業の位置づけを理解し、それを他人へ表現することができる。 2.家畜の飼育環境、生理・生態を理解し、他人へ表現することができる。 3.飼料の生産と利用について理解し、他人へ表現することができる。 4.ブタ、ニワトリ、ウシ等の家畜について理解し、他人へ表現することができる。			●	
	園芸療法Ⅰ	金	4	小石鉄兵	2	5名程度	1～4	15回	●			1.植物が人に与える効果について、福祉的かつ療法的に活用し期待される効果を説明できる。 2.園芸療法の原理と原則を理解できる。			●	
東九州短期大学	宗教学Ⅰ	未定	未定	緒方義英	2	5名程度	1～4	15回	●			宗教、特に仏教に関する基礎的な教義の理解を通して、本学の「建学の精神」である大乘仏教の精神に触れ、心豊かで社会性のある人格を涵養する。 (1)宗教の本質と意義について考えることができる。 (2)世界の多様な思想について、柔軟で、幅広い見方ができる。 (3)釈尊の求道について説明することができる。				●
別府溝部学園短期大学	温泉学	集中	-	宮崎博文 他	2	10名程度	1～4	15回	●			1.温泉資源の利活用について幅広く実践的な基礎知識を身につけることができる。 2.大分県の温泉、特に別府温泉を題材に温泉の自然と文化を学ぶことができる。 3.温泉県大分の情報発信ができる温泉コンシェルジュをめざすことができる。	フィールドワーク有り		●	
	温泉コンシェルジュ演習	未定	未定	安達美和子	2	5名程度	1～4	30回	●			1.(別府)温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を説明できる。 2.「おすすめ別府案内」プログラムが提案できる。 3.「おすすめのはしご湯」機能浴が提案できる。 4.他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心がかかることができる。 5.顧客や職場等を理解し、多様な価値観を受容する心がけができる。	フィールドワーク有り ※開講曜日・時限は2024年3月初旬確定予定	●		
大分工業高等専門学校	農学概論	火	4	高橋徹 他	2	3	3・4	15回	●			1.農業と工学の関係を理解する。(課題、定期試験) 2.農業生産物の生産、管理、加工、流通、安全について理解する。(課題、定期試験) 3.いきものつくりについて、技術者の観点から概観できる。(課題、定期試験)				
	環境化学	未定	未定	帆秋利洋	2	4	3・4	15回	●			1.化学の基礎力をベースに環境問題の現状を把握し、環境保全への関心を抱くことができる。(課題評価) 2.化学的な視点から大気・水・土壌の汚染問題を議論できる。(課題評価) 3.化学物質の循環、越境および管理について理解することができる。(課題評価)	※開講曜日・時限は2024年3月初旬確定予定		●	